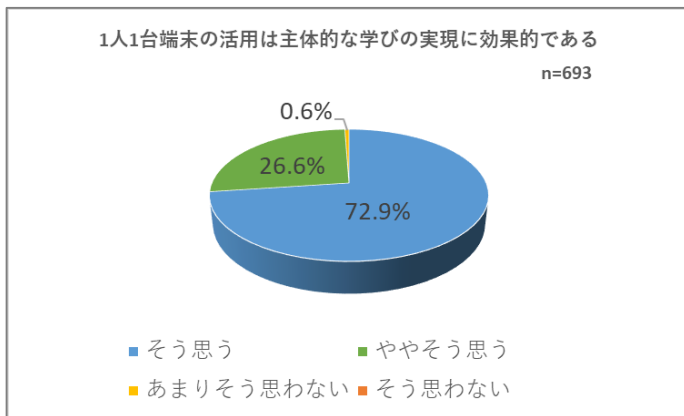
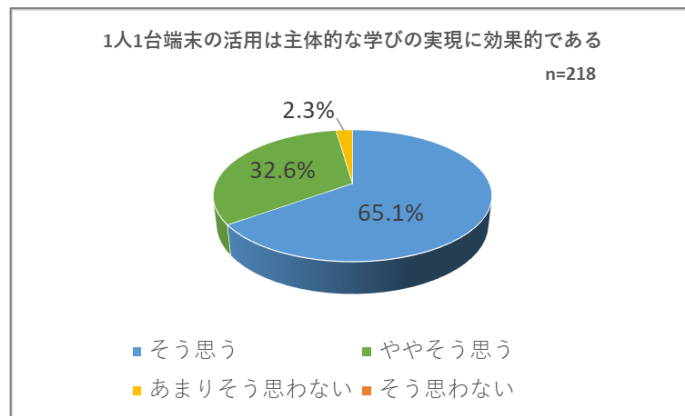


県内小・中学校から、保護者・地域に公開した授業内容を中心として、1人1台端末活用の概要やアンケート等を回答いただきました。その結果を「主体的・対話的で深い学び」の観点からまとめ、今後の取組を展望します。

【実践者アンケート結果】



小学校



中学校

「1人1台端末の活用は主体的な学びの実現に効果的である」の質問項目では、小学校約99%、中学校約97%が肯定的な回答でした。児童生徒は端末を効果的に活用することで、学習活動の充実や自己の成長を感じたことでしょう。その姿を見取った先生方から、次のような回答がありました。

- ・1人1台端末を活用して、資料を拡大したり映像を自分のタイミングで止めたりすることで、主体的に調べ学習に取り組める児童が増えたように思う。(津山市立高野小学校)
- ・主体的な学びを促すために、振り返りが一覧で見られるようにし、自分の学習への取り組み方の軌跡や変化に注目することができるようにした。(備前市立三石小学校)
- ・共同編集機能を使うことで、お互いに意見を交換しながら主体的に取り組むことができたと思う。発表が苦手な児童も個性を生かしたスライドを作成するなど、1人1台端末の活用がより児童の成長につながっていると感じた。(浅口市立寄島小学校)
- ・児童が主体的にスライド作成に取り組むことができた。最低限の使い方を提示し、様々なところを触って使ってみようとして声掛けをすることで、自分たちでフォントの変換やアニメーションなどの変更方法、写真の挿入方法に気づき、児童同士で共有し活用していた。(美咲町立旭小学校)
- ・ただ教えるだけよりも、生徒が調べる方が圧倒的に幅広い情報が集約できるうえ、生徒の主体的に学ぼうとする姿勢もよかった。(津山市立中道中学校)
- ・何度も繰り返し発表を録音できるので主体的に学習に取り組むことができたと思う。(瀬戸内市立長船中学校)
- ・器械運動にタブレットを活用することで自分の課題を客観的に理解し、繰り返し粘り強く取り組む主体的な活動が見られた。(勝央町立勝央中学校)



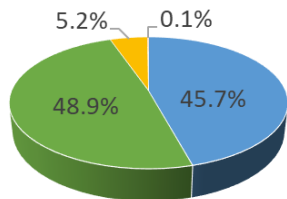
鏡野町立香々美小学校
3・4年生 学習発表会

また、今後の実践を展望し、次のようなりフレクションがありました。参考にしてください。

- ・調べる活動は主体的で、思ったよりたくさんの発表があったが、交流や深化にはもう一工夫がいるように感じた。(赤磐市立山陽東小学校)
- ・生徒の主体的な学びには、課題設定が重要であると改めて認識した。(県立岡山操山中学校)
- ・自ら課題を設定して、それを解決するための活動を取り入れることで、主体的な学びにつながったと考える。(県立倉敷天城中学校)

1人1台端末の活用は対話的な学びの実現に効果的である

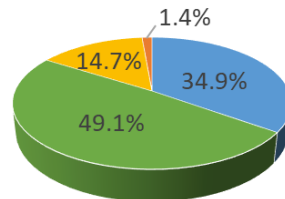
n=693



■ そう思う ■ ややそう思う
■ あまりそう思わない ■ そう思わない

1人1台端末の活用は対話的な学びの実現に効果的である

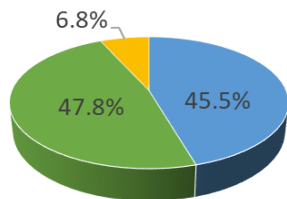
n=218



■ そう思う ■ ややそう思う
■ あまりそう思わない ■ そう思わない

1人1台端末の活用は深い学びの実現に効果的である

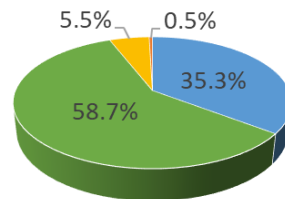
n=693



■ そう思う ■ ややそう思う
■ あまりそう思わない ■ そう思わない

1人1台端末の活用は深い学びの実現に効果的である

n=218



■ そう思う ■ ややそう思う
■ あまりそう思わない ■ そう思わない

小学校

中学校

「1人1台端末の活用は対話的な学びの実現に効果的である」「1人1台端末の活用は深い学びの実現に効果的である」の質問項目では、前述の主体的な学びの実現の結果に比べ、「そう思う」の回答が約3割程度減っています。その原因には、児童生徒が端末に慣れる段階で操作に注力しがちであったことや、端末を活用してできるようになったことが増えたために活動時間の配分が難しくなったことなどがアンケートの回答で挙げられています。一方で、効果的な活用ができた手応えについては、次のような回答がありました。

(主に対話的な学びについて)

- ・発表資料を共同編集できるため、「どうやったら分かりやすく、興味を引く資料ができるか」と試行錯誤しながら協力して資料を作成できる良さがあると感じた。(高梁市立福地小学校)
- ・自分の考えと他の生徒の考えを短時間で視覚的に比較することができていた。導入部分でとても活発な話し合いとなり、その後の展開内容もより深めることができたと感じている。(井原市立木之子中学校)

(主に深い学びについて)

- ・意見を瞬時に可視化、整理できるので全体共有が円滑にできるようになった。さらに、授業の振り返りの内容も深まりが見られた。(津山市立勝北中学校)
- ・生徒の思考の補助ツールや協同学習を促進する上で、端末の使用にさらに慣れることは必要不可欠なので、各教科で活用を推進する。(美作市立英田中学校)



新見市立思誠小学校
2年生 算数科
図を使って考えよう



浅口市立鴨方西小学校
5年生 算数科
個人の端末画面を映して発表



真庭市立蒜山中学校
3年生 特別の教科 道徳
端末を活用した話し合い

また、端末を活用した実践を通して、ICT活用以外にも目を向けた授業改善の取組について、次のようなりフレクションがありました。

- ・発表や交流の方法を工夫することで、対話的な学び、深い学びにつながる事が期待できる。（和気町立和気中学校）
- ・バスケットボールのシュートモーションの動画を撮ることはできるが、その動画を生徒が有効活用できたかどうかは疑問が残った。自分の動作確認や自己分析には役に立ったと思うが、なかなか行動や言葉での振り返りに見えてこなかった。そのスポーツの知識や技のポイントを理解していないと言葉として説明することは難しく、事前学習の大切さを実感した。（玉野市立荘内中学校）
- ・ICTの即時性をいけば、従来では時間がかかっていた仮説や実験結果、考察の交流が容易に行うことができるので、時間に余裕が持てたりさらに深い探究ができたりすると考えられる。（備前市立日生中学校）

1人1台端末が整備される以前、児童生徒の一人一人の考えの交流は発表等の場を設定して行っていたが、端末整備下では、自分の意見を提出する段階や作品づくりの過程において多くの交流が生まれています。今後の新たな取組を展望し、次のようなりフレクションもありました。

- ・共同編集機能を使うことで、教室内は静かだが、オンライン上では活発な対話が生まれるという新しい対話の形を見出すことができた。今回は活用できなかったが、ドキュメントのコメント機能や提案モードを活用すれば今後さらに対話が深まっていくと感じた。（津山市立高野小学校）
- ・スライドを作成し、順番にプレゼン発表をしたが、もっと互いにディスカッションしたほうが深め合えるのではないかと感じた。（県立倉敷天城中学校）

【令和4年度に向けて】

岡山県では、授業改善と情報活用能力の育成をより一層推進するため、この度の「GIGAスクール構想充実月間のアンケート結果」を参考に、「岡山県版ICT機器授業活用1・2・3」の具体的な学習活動イメージを右の図のように再整理しました。

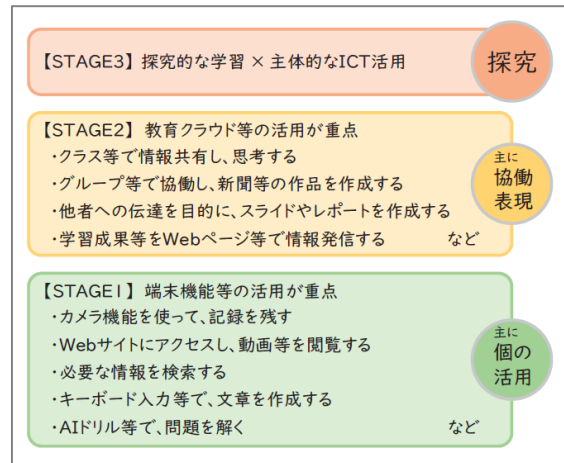
令和4年度は、各教科等の学習を深める探究的な学習の過程において、児童生徒がICTの使いどころや、端末の効果的な使い方等を思案し、STAGE1・2で身に付けた機器操作能力等を発揮しながら主体的に活用する【STAGE3】の実践が、多くの学校で展開されることを目指します。

また、情報活用能力を体系的に育成していくことも重要です。アンケートにおいても、情報活用能力の必要性について次のような回答がありました。

- ・検索ワードを何にすればいいのか、どのサイトを見れば自分の知りたい情報が得られるのかなどが曖昧な児童もいる。（久米南町立神目小学校）
- ・調べることに慣れているが、情報の取捨選択の力はまだ高くないと感じている。（美咲町立柘原中学校）

令和3年度末に各校へ配付する「教科等におけるICT活用実践事例集 STAGE3編（第二版）」では、【STAGE3】の学習サイクルや実践事例、情報活用能力の体系（例）を示しています。ご一読の上、今後の実践や取組の参考にしてください。

アンケートに回答いただいたおかげで、GIGAスクール構想元年の実態や今後の展望について情報提供することができました。ありがとうございました。



「岡山県版ICT機器授業活用1・2・3」



教科等におけるICT活用実践事例集 STAGE3編（第二版）